

講義科目名称：教育原理

授業コード：

授業科目の区分等：教職科目 教育の基礎的理解に関する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
菅原 亮芳			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい（概要）	菅原亮芳(単独) 教育の基礎的理解に関する科目 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、表現できる。 [テーマ]「教育の原論的考察を通して自らの教育観を持つということはどういうことか」		
授業計画	第1回	オリエンテーション／授業の概要と目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習（時間）：シラバス熟読（120） 復習（時間）：本科目の内容確認（120）	
	第2回	教育とは何か 予習（時間）：教科書(1-7頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第3回	人間の成長と発達と社会化 予習（時間）：教科書(77-94頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第4回	「学制序文」に示された教育の理念 予習（時間）：教科書(46-47頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第5回	「教育勅語」に示された教育の理念 予習（時間）：教科書(47-50頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第6回	教育基本法に示された教育の理念 予習（時間）：教科書(53-62頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第7回	改正教育基本法に示された教育の理念： 予習（時間）：教科書(31-38頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第8回	教育の歴史（１）近代以前の学びのシステムと学校 予習（時間）：教科書(38-45頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第9回	教育の歴史（２）近代社会の教育制度の成立と学校・家族 予習（時間）：教科書(95-106頁)・配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第10回	教育の歴史（３）戦後の教育と学校 予習（時間）：教科書(63-76頁)・資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第11回	教育の歴史（４）今、日本の教育、何が課題か(学校化社会、学校選択、進学・受験・競争など) 予習（時間）：教科書(88-94頁)・資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第12回	教育の思想（１）ヨーロッパの教育思想家たち 予習（時間）：教科書(8-22)・資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第13回	教育の思想（２）日本の教育思想家たち 予習（時間）：教科書(23-31頁)・資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第14回	教育の思想（３）近代日本「教育家族」の展開 予習（時間）：配付資料熟読（120） 復習（時間）：学習内容のまとめ（120）	
	第15回	全体のまとめ／再び・教育とは何か／これからの社会・これからの教育 復習（時間）：学習内容の総まとめ（120）	
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力		
到達目標	(1) 教育の基本的概念（教育の理念を含む）、（2）教育の歴史、（3）教育の思想、それぞれについて理解し、その概要及び要点を説明できる。（4）教育のあり方について自分なりの考えを持つことができる。 [テーマ]「教育の原論的考察を通して自らの教育観を持つということはどういうことか」		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題に必要な応じて適宜手直しし指導助言し返却することもある。		
履修上の注意	(1) 講義及び課題についてのグループ協議・演習・ディスカッション・発表等により授業を進める。 (2) 教育の理念と教育の歴史と思想に関する基礎的な知識を獲得することを目的とする。		

成績評価の方法・基準	最終レポート（定期試験として）80%、期間内に課す小テスト・授業内レポート5%、宿題・授業外レポート15%で評価する。
教科書	教育学原論・滝沢和彦・ミネルヴァ書房・2420円
参考書・教材	【参考書】名著改題・寺崎昌男・共同出版、高等学校学習指導要領・平成30年3月・文部科学省【教材】各年度の「検証・教育実習」・高崎商科大学を常に携帯すること
備考	講義科目
教員との連絡方法	オフィスアワー